

## 単元の評価規準表

< 本単元のねらい >

身の回りにある敷き詰め模様探しを通して、正方形や長方形以外の図形が敷き詰め模様として生活に生かされていることを知るとともに、基本図形や簡単な基本図形の合成・変形によりできた図形で敷き詰め模様を作り、その不思議さや美しさを味わう。

単元の評価規準	時	評価場面（方法）	主な評価の観点	努力を要する状況の児童への指導の手だて
【算数への関心・意欲・態度】 身の回りにある幾何模様などの図形的な美しさに関心をもつ。	1	・身の回りから敷き詰め模様を探す場面 （写真・ノート）	関 身の回りにある敷き詰め模様をみつけようとする。	・教師の見つけた正方形や長方形以外の敷き詰め模様を提示し、意欲を喚起する。
【数学的な考え方】 敷き詰めることのできる図形の性質や仕組みを考えることができる。	2	・敷き詰めることのできる図形を考える場面 （行動観察・発言）	考 敷き詰めることのできる図形の性質や仕組みを見つけてことができる。	・三角形の敷き詰め図を提示し、その中に他の図形を見つけることができないかを考えさせ、敷き詰められる図形についての見方を広げる。
【数量や図形についての表現・処理】 基本図形や簡単な基本図形の合成・変形によりできた図形で平面を敷き詰めることができる。	3	・敷き詰め模様を作る場面 （行動観察・作品）	表 基本図形や簡単な基本図形の合成・変形によりできた図形で平面を敷き詰めることができる。	・三角形の敷き詰めを想起させ、合わせる位置や図形の向きなどを考えさせるとともに、相互交流を促す。
【数量や図形についての知識・理解】 敷き詰める活動を通して、平面の広がりについて理解したり、図形に関する性質を見いだしたりするなど、図形についての感覚を豊かにする。		・できた作品を鑑賞しあう場面 （発言・ノート）	知 友達が作った敷き詰め模様の規則性や合成・変形した図形について気付く。	・数名の児童に気付きを発表させ、参考にさせる。